



## PRESS RELEASE

平成 23 年 3 月 10 日

岡 山 大 学

### 「要介護者の口腔ケアに関するアンケート調査」を実施しました。

**概要：**大学院医歯薬学総合研究科・歯周病態学分野では、JST の委託を受け「要介護者向け口腔ケア剤の開発」に取り組んでいます。要介護者向け口腔ケア剤の市場ニーズを把握し、市場にマッチした口腔ケア剤を開発することを目的に、岡山県内の介護施設を対象としてアンケート調査を実施しました。

アンケート及びヒアリングにより、1) 研究開発中の新しい口腔ケア剤の市場ニーズは高い、2) 口腔ケアに対する要介護者の拒絶・拒否が実施上の大きな問題になっている、3) 要介護者の口腔ケアの充実には歯科衛生士を介護施設で受け入れる制度の整備が重要なこと等が明らかになりました。

#### <経緯・実施内容>

歯周病態学分野に所属する難波尚子助教を中心に、JST の若手研究者ベンチャー創出事業の委託を受け、「要介護者向け口腔ケア剤の開発」に平成 21 年 11 月から 3 年間の予定で取り組んでいます。

平成 22 年 2 月、岡山県内の介護施設を対象として第 1 回の調査を実施しました。第 1 回調査では介護施設が置かれた条件（施設の形態、規模、要介護者の介護度等）によって、口腔ケアの実施状況、負担軽減に対する期待度、口腔ケアの現状評価等に大きな差があることが明らかになりました。

そこで、今回の第 2 回調査では、最も口腔ケアの実施が困難で、且つ、新しい口腔ケア剤を必要としていると思われる、施設の規模が大きく、介護度の高い要介護者が多い、特別養護老人ホーム及び養護老人ホームを対象としてアンケート調査を実施しました。また、ご回答いただいた施設の中から 2 施設を訪問し、施設の責任者や実際に介護を担当している職員の方々からお話を伺いました。

#### <調査の概要>

1. 調査対象：岡山県内の特別養護老人ホームおよび養護老人ホーム計 138 施設
2. 時期：平成 22 年 7 月 16 日～8 月 12 日
3. 調査方法：アンケート用紙の郵送及び回答があった 2 施設へのヒアリング
4. 回答状況：介護施設 70 施設（回答率 50.7%）、介護担当者 314 名

#### <調査で明らかになった主な内容>

1. 当プロジェクトで研究開発中の新しい口腔ケア剤の想定される効果や使用方法を掲げ質問をおこなったところ、介護担当者の 80% が新しい口腔ケア剤を使用してみたいとしており、簡単で、安全性が高く、安価で、口腔ケア効果が持続する新しい口腔ケア剤の市場ニーズは高い
2. 日常使用している口腔ケア剤に十分満足している介護担当者は 20% に過ぎず、不満であると回答した介護担当者も 2 割近くおり、改善の余地が大きい
3. 90% の介護施設で協力歯科医療機関が決まっているが、気軽に相談できる歯科専門職がいる介護担当者は半数を超える程度で、口腔ケアのより一層の定着には歯科専門職と連携が欠かせない
4. 口腔ケア実施上の問題点では「口腔ケアを嫌がり拒否する人や噛みついてくる人がいる」など、ケアに対する拒絶・拒否が大きな問題になっている
5. 要介護者の口腔ケアの充実には、退職した歯科衛生士を介護施設で受け入れる制度の整備が必要

#### <お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

歯周病態学分野・教授 高柴 正悟

（電話）086-235-6675（FAX）086-235-6679